

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目／全3枚)

氏名 中川 敬雄

発言番号			発言事項及び発言要旨	備考
1	(1)		<p>加賀温泉駅全天候型広場施設について 愛称の募集について 高架下都市施設を「ゆのまち加賀」と名づけたときと同様に、愛称を募集すると聞いていたが、どのようなスケジュール感で進めていくのか。</p>	
	(2)		<p>完成時期について 令和8年春に完成予定と聞いているが、現在の工事の進捗状況及び完成時期について問う。</p>	
	(3)		<p>グランドオープンイベントについて 今回の全天候型広場施設の完成で、加賀温泉駅はほぼ全て完成してグランドオープンとなるが、その際はどのようなイベントを考えているのか。 今回の補正予算では全天候型広場施設完成イベントに関する補正予算が上がっていない。地元でもぜひ盛大なお祝いになるように期待し、また協力していきたいと考えている団体もあるようだが、どのように考えているのか。</p>	
2			<p>アビオシティ加賀とアビオシティホールの連絡通路について 連絡通路が令和6年能登半島地震の際に崩落したまだ。再建予定と聞いているが、今後どのようなスケジュールで再建するのか。 また、構造については当然耐震性を高めたものになると思うが、どのようなものになるのか。 再建の主体は協同組合加賀ターミナルセンターであるが、当局は情報を共有していると思うため、所見を問う。</p>	
3			<p>加賀温泉駅周辺へのホテルの誘致について 先日、10月にオープンしたウレシャス小松へ行く機会があった。コンベンションホールやホテルを兼ね備えた複合ビルで、小松駅周辺のにぎわい創出に大きな影響を与えるものを感じた。それだけではなく、小松駅周辺にはいくつもの新しいホテルができてきている。 加賀温泉駅周辺にもホテル建設の計画はあるようだが、まだまだ少ないよう思う。未来型商業エリアにも計画はあるようだが、加賀温泉駅前の温泉中央口側にそのような施設があれば、観光客だけでなく、仕事で来た人たちも利用しやすく、にぎわい創出につながると考えるが、所見を問う。</p>	

# 発言通告書要旨 (2枚目／全3枚)

			氏名 中川 敬雄
発言番号		発言事項及び発言要旨	備考
4	(1)	<p>加賀市再生プロジェクト推進事業について タウンミーティングについて 市民からの意見をタウンミーティングやデジタル目安箱を通じて吸い上げ、加賀市再生プロジェクト検討委員会で取り上げるようだが、タウンミーティングはこれまで市政懇談会という形で各まちづくり推進協議会単位などで行われてきた。</p> <p>今回は中学校区単位で行うパターンとテーマごとに行うパターンがあるということだが、その方法及びこれまでとの違いを含め概要を示せ。</p> <p>また、中学校区単位では人の集まる地区に偏りが出るようと思うが、その対策を示せ。</p>	
	(2)	<p>加賀市再生プロジェクト検討会について 加賀市再生プロジェクト検討会は、再生プロジェクト室に答申をするという大変重要な役割を果たす会であり、そのメンバーの選定は大変重要に思う。官、産、学、金、民から集めることだが、どのようなメンバーを選定するのか。</p> <p>また、民については公募ということで、募集が既に始まっているが、この選考も非常に難しいと思われる。どのような基準で選考するのか、所見を問う。</p>	
	(3)	<p>意思決定プロセスの透明性の担保について 加賀市再生プロジェクト推進事業については、その意思決定のプロセスの透明性を担保することが必要だと思われるが、その方法はどのように行うのか所見を問う。</p>	
5	(1)	<p>プライマリーバランスについて 加賀市におけるプライマリーバランスについて 加賀市の令和8年度の予算編成では、プライマリーバランスの改善を意識した編成を行うとのことだが、基礎自治体におけるプライマリーバランスとはどのようなものか示せ。</p> <p>また、これまでのプライマリーバランスをどう分析しているのか。</p>	
	(2)	<p>国のプライマリーバランス見直しへの対応について 国は単年度でのプライマリーバランスについて柔軟に考えるよう方針を改めた。いわゆる積極財政に方針を転換したわけだが、こうしたことによって今後地方に対しても様々な交付税措置や補助メニューが出てくると考えられる。それらに対応できるように今から積極財政への加賀市としての対応を考えていく必要があると思うが、所見を問う。</p>	

# 発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目／全3枚)

氏名 中川 敬雄		
発言番号	発言事項及び発言要旨	備考
6	<p>物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付について          国の積極財政推進の中、国の補正予算で物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が追加されることとなったが、加賀市ではどのような対応を考えているのか。その規模感も含めた所見を問う。</p>	
7	<p>未来型商業エリアなどの民間開発投資について          未来型商業エリアの開発主体はあくまで民間であり、地元地権者も90%以上がこの開発に賛同し、期待している。このような民間開発について、行政側からその進出のよしあしを問うような行為の情報を発信することは、今後の加賀市への民間投資を委縮させるように思い、またそのようなことを行政が行つてはいけないと思うが、所見を問う。</p>	